



統一全國行動

夜空にひびく安保廃棄

六月二十二日 日米安保条約の固定期限の切れた日です。」この日以後、日米どちらかの政府が安保をやめると通告すれば、一年後に廃棄できるのです。

と集会がひらかれました。東京では社会党、共産党、総評、平和委員会など統一実行委員会主催で午後六時から、原宿のスマークー会場である代々木公園にて二十三万人が参加して「安保条約廃棄宣言、平和、中立、生活擁護をめざす六・二三全国統一行

動中央大集会」が開かれました。ただいまの仲間たちも、田辺おおじ「田辺さん」への御出迎えがながく安酒会、みんなたたかう会、行動隊編成などいろいろな活動をしてきました。

「がんばろう」十年前、六年安保の闘いとともに聞かれた三浦つぐみの歌が、たゞのた。七〇年は安保を廢棄するまでの政府をいつぶすと、明治時代に「この間に」という言葉で、つまびきながら強い唄が会場からわきおこってござります。

ま 合 う 民 た う お あ す。
「洋服を返せ」「一坪たり
も渡さまこ」「あたひしこ本
はのぬる」何よつむお綱の仲
たちへの熱い連帯の思いがうが
うえをひくしょ力強くひびか
あした。

げ
と 陽 間 た せ

を行進し、夜を徹してうたえ
をひびかせました。

歩く 歩く 歩く
世界のひとと友達になりたいから
歩く

若い心があるから 歩く
夢があるから 歩く

歩く
潮さんのように 歩く
怒濤のようだ 歩く

歩く 歩く
炎のように 歩く
燃れる火のように 歩く

歩く
山がうごいていくように 歩く
確かなものにむかって 歩く

歩く 歩く 歩く
夜の中を 歩く
光る虫を 歩く

歩く
地球のおもとを 歩く
さわやかな風のように 歩く
大風の風のように 歩く

一九七〇·六·二三